

平成27年7月17日

平成27年度第1学期 終業式 式辞

校長 辻村 大智

台風11号の影響が心配されます。体育館の非構造部材の耐震化工事が始まりました。この工事の期間は10月中旬までの予定です。授業や学校行事、部活動にたいへん不便をおかけしますが、これは、近い将来発生が予想される南海トラフを震源とする大規模地震に備える工事です。どのような事態に至っても、皆さんの命を守り、安心して安全な環境で学べるよう行うものです。工事が安全にそして速やかに進むよう皆さんの協力をお願いします。

平成27年度第一学期も、本日で一つの区切りを迎えました。振り返って如何でしょうか。保護者会も終わりましたが、学習の結果やクラブ活動等へ取り組む状況について、皆さんの思い描いたように進んだでしょうか？目標への向かい方、実現の在り方について、自分なりに実行できたでしょうか？うまくいった方はその調子で頑張ってください。「もう一つだったな…」「何か空回り…」と感じている方は「目標設定の仕方」について今一度工夫してみたいかがでしょうか。「漠然としていて、どのように目標を立てていいかわからない」と感じている人はこの機会にぜひ担任や教科担当の先生に相談してみてください。いずれにせよこの夏休み期間中の過ごし方、活用の仕方がポイントです。

折しも天遠くからビッグニュースが届きました。地球から48億キロメートルの彼方、冥王星にアメリカの探査機、ニューホライズンが最接近を果たし様々な観測を行うことに成功しました。私が高校生の頃は「水金地火木土天海冥」、冥王星は太陽系9番目の惑星として学びました。名前もローマ神話の冥界（死後の世界）を司る神の名前、プルート（Pluto）からつけられたということもまた一興です。この星も今は惑星の条件を満たさないとして準惑星の位置づけになり、太陽系を構成する惑星は公式に8個となっています。しかし私の心の中では冥王星は太陽系の9番目の家族であり続けています。ニューホライズンの旅は実に9年半に及びました。機器に指示を送る電波も、行って帰ってくるのに9時間以上かかります。私が高校生の頃は夢物語でしかなかったことが今実現しています。このような壮大なミッションも、実は一つひとつ細かなことを乗り越え、ピラミッドのように積み重ねてきた結果と言えましょう。構成するピースのどれ一つが欠けても成り立ちません。まさに「神は細部に宿る」「一つ一つ、一日一日を大切に」ということですね。

いきなり大事が成就するわけではなく、一気に上達するわけでもありません。一つひとつ順に積み重ね、それを続けていく努力がとても大切です。当然体力も必要です。何をやるにしても大切なことは、自分の生活習慣を、健康を第一に考えて確立することです。体に無理強いをして一時的に成果を得ても、中長期的に見れば得策とは言えません。かけた労力に見合うほどの効果は望めないと思ってください。体のリズム、身体や脳の働きがいつもベストの状態にしておくことが大切です。よく食べて、よく寝ること、この基盤の上に皆さんの努力が成され、結果というピラミッドが出来上がります。

夏休み、遠い宇宙からのメッセージに思いを馳せるとともに、皆さんお一人お一人がどのようなピラミッドを造るのか、楽しみにしています。